



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

【雲煙過眼】(うんえんかがん)

物事に執着しない
心にとめない、物事にこだわらない。



Lend a Hand

手を貸そう

2003 2004年度 国際ロータリーのテーマ

識字率向上月間

第798回 平成15年 7月23日(水)

〔本日のプログラム〕

1. 点	鐘	次 回 予 告
2. ロータリーソング		★ 7月30日(水)
「それでこそロータリー」		世界社会奉仕
3. 四つのテスト唱和		について
4. 食	事	100万ドル食事
5. 会 長 の 時 間		
6. 幹 事 報 告		★ 8月 6日(水)
7. 委 員 会 報 告		8月セレモニー
8. 会 員 卓 話		会員卓話
	垂水敏雄君	水浦 達博君
9. 点	鐘	理事・役員会

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週水曜日(12:30~13:30)	会 長	中武 幹雄
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	林 厚雄
事務局	宮崎県佐土原町大字下塚岡3887-17	幹 事	梶田與之助
	☎880-0212	会 計	岩切 正司
	TEL及びFAX 0985-73-7170	会報委員	池田 仁志

第797回例会記録 (2003. 7. 16)

☆会長の時間

会長 中武幹雄君

皆さん今日は。今日は第797回の例会です。

先週は「識字率向上月間」について述べさせて頂きましたが、本日は、ロータリーの創始者、ポール・パーシー・ハリス氏について調べた事をお話致します。もう既に皆さんご存知の事と思いますが、確認の意味で聞いて下さい。

Harrisは1868年4月19日、ウイコンシン州ラッシュン(アメリカのミシガン湖のある湖)で生まれました。彼の家系については、父方がスコットランド系(イギリス)、母方がアイルランド系(イギリスの隣国)の移民である事以外は詳しい事は分かっていません。父ジョージ・ハリスはドラッグストアを経営する傍らで、著述や発明や色々な事業に興味を示す多芸な人でしたが、一獲千金を追う余り、自分の本業を堅実に営むことの出来ない質でした。母コーネリアは、裕福な家庭に生まれたこともあって、金銭感覚に疎く、家系が火の車の状態であっても、メイドを雇うことを当然の権利だと考えるタイプでした。父の不安定な収入と放漫な支出の結果、乱発した小切手がジョージの支払いの能力を超え、ついに破産と一家離散という最悪の事態が訪れます。当時5歳のセシルと3歳のポールは、農園を営んでいる、祖父ハウードの家族に預けられることになるのです。それは1871年の暑い夏の夜の事であり、ハリスにとって生涯消し去ることの出来ない光景だった様です。その後、何年か経って、祖父ハワ

ードの援助によって、父の事業が再建され、新たに家族と一緒に生活出来たものの、再び破産を繰り返し、生涯を通じて両親の愛情にこそ恵まれなかったものの決して不遇な少年時代を過ごしたわけではなかった。素朴で信仰の篤い祖父母に囲まれて育って行き、そのことが愛情に満ちた人格形成に大きな影響を及ぼしたと言えるでしょう。

宗教的迫害を受けて、イギリスから逃れて来た清教徒達が、このアメリカ東海岸に安住の地を見出し、その精神を受け継いだ祖父母に育てられた事や、その環境の中で多感な少年時代を過ごしたことが、ポールの心に強いピューリタニズムを植え付け、それが後にロータリーの思想の根底となったのではないかと思います。しかし、向こう見ずのポールは喧嘩早く、さらに学校嫌いという重大な欠陥があり、後に彼の人生を幾度か狂わす事になるのです。

1885年にバーモント大学に入学、退学。1887年プリントン大学に入学、退学、それらの退学がポールの人生観に大きな変化を与えるきっかけになったそうです。自分の将来の進路を弁護士と定めたポールは、1年間アイオワ州デモイン市の法律事務所研修についた後、1889年にアイオワ州(ウイコンシン州の隣)立大学法学部に入学、そして、卒業と同時に弁護士試験にも合格します。1891年6月、23歳の事でした。それからアメリカ国内は勿論のこと、ヨーロッパまで足を伸ばし、見聞を広める一方で、旅の先々での生活を得るために、ありとあらゆる職業を経験して行きます。やっとシカゴに安住して、本来の弁護士事務所を開設したのは、1896年2月27日の事でした。

1900年のとある夏の日、彼は弁護士仲間の友人と夕食をとった後、夕方の冷気に吹かれながら散歩を楽しんでいました。友人の弁護士が街路樹に沿って歩いていると、すれ違う人たちが親しげに声をかけて来ます。彼は親しく付き合っている多くの実業家や商人達をポールに紹介しました。思わずポールは声を出しました。「もしも、このような堅実な人たちと度々会う事が出来たら、どんなに楽しいだろう。それぞれの業種から、一人の人が社会的に集まれば、そこに友情が生まれるかもしれない」それは興味ある1つのアイデアでありましたが、漠然としたものに過ぎなかったため、実行に移すために、弁護士としての生活の中で慎重に検討を重ね、遂に、1905年2月23日を迎える事になったのです。要するに創設日です。

ポール・ハリス(弁護士)、シルベスタ・シール(石炭商)、ガスター・バス(鉱山技師)、ハイラム・ショレ(洋屋)の4人でスタートしたのです。

今日はロータリーの創始者、ポール・ハリスの生い立ちから、ロータリーを立ち上げる迄の彼の人生をインターネットで調べた事の中から、抜粋しました。これで、会長の時間を終わります。

☆幹事報告

幹事 梶田 與之助 君

1. 例会変更通知

①7月24日(木)の例会は納涼例会のため、時間 19:00
場所 霧の蔵 ブルワリーに変更
都城中央RC

2. 本年度第1回の中部分区会長・幹事会が8月20日(木)に開催の通知が来ております。協議の内容については、又、報告致します。

今日はスイカについて、少しお話しします。

夏の甘い風物詩として馴染みのスイカ。中国では天然の漢方薬として珍重され、暑気あたりや、糖尿病に用いられて来ました。

殆どが水分で、利尿作用があり、急性の腎臓炎に効果があります。ビタミン、ミネラル、鉄分なども含まれています。旬の果物を沢山食べて、暑い夏を美味しく過ごしましょう。

☆出席報告

副委員長 岩下 廣美 君

会 員 数	28名
例 会 出 席 者	22名
出 席 率	79%
メークアップ者数	1名
修 正 出 席 率	82%
欠 席 者 名	林、神宮寺、宮本、後藤、太田



☆会員卓話

郡 司 武 俊 君

昨年はホワイトニング（歯を白くきれいにする方法）についてお話をしましたが、本日は歯のクリーニングと言う事についてお話致します。私の業界では歯のクリーニングということは今、中央の方ではブームになっております。

皆さんも健康のために色々な方法を行って、取り組んでおられると思いますが口の中もタバコのヤニ、ワイン、コーヒーなどにより、着色した歯の表面をきれいにする、虫歯になる原因の菌垢（プラーク）を取り除く、予防を目的とした歯の掃除、クリーニングが必要になっております。

歯のクリーニングは治療ではなく、予防措置です。

配布しました、資料のPMT Cというのは、専門家による機械的歯面清掃（Professional Mechanical Tooth Cleaning）（歯科医師、歯科衛生士のように特別な訓練を受けた専門家により、器具とフッ化物入りペーストを用いて、全ての歯面の歯肉縁上及び縁下1~3mmのプラークを機械的に選択、除去する方法）を言います。

ミュータンス菌等が歯の表面につき虫歯になる。歯の表面についた菌は口腔内の唾液とか食事などにより、胃の中に入ってしまう。食事する事で洗い流され、実際には簡単には虫歯は出来にくくなっておりますが、一般的には菌垢（プラーク）が長く歯についている時間が夜、寝ている時です。そのため、寝る前の歯磨きが重要になって来ます。

資料の2 ページにあるように最近バイオフィームと言う言葉が良く使われますが、このバイオフィームと云うのは、

歯の表面に菌がくっついていても、前述の様に、すぐ流されるわけですが、菌もさるものです。流されない様にする為に、口腔内の食べカスとか唾液に含まれる白血球とか色々な物を混ぜ合わせ、歯の表面に、フィルム（膜）を作り、その膜に守られ、ミュータンス菌が働いて、虫歯を作ったり、菌ぐきを冒し、歯周病になったりする訳です。

この膜は多少、薬などを用いても中々取れないということになります。

資料3 にありますように、マイクロビー→バイオフィームの形成→バイオフィームの熟成→バイオフィームの完成となります。これを、私共専門家により、機械的に掃除してやるという方法が、PMT Cです。

このPMT Cは地方ではまだまだ普及しておりませんが、東京あたりの中央では一般化されており、月1回はしておるといふ方が多いようです。

私共も以前より、実施はしてはしておりますが、アピールが少し足りないと思ひまして、映像を作りましたので、どうぞ、ご覧下さい。

歯の治療となると、とかく、痛くならないと歯科医院に行かないと言う方が多いですが、早目にこう言う処置をされると、治療も早く、痛みも余り感じないで済むということになります。

歯石取りは半年に1回、PMT Cは3ヶ月に1回というのが理想的です。

どうぞ、皆様も歯を大切にされて、是非、8020運動に挑戦して下さい。